

## ★（様式A）通常事業評価シート【R4年度実施事業（一部）／子ども家庭応援部子育て支援課による自己評価】

（単位：千円）

No.	事業名	総合計画での位置付け （個別目標）	事業の目的 （誰をどのようにするか）	事業の手段 （今年度の主な活動結果）	事業の目的達成に 近づいたか	今後の 方向性	事業費 （決算見込額）	人件費 （参考値）	コスト 合計	事業の課題	今後の改善ポイント	備考
1	助産支援事業	安心して子どもを産み、育てられている	低所得者の出産に係る経済的な負担を軽減するため、助産の支援を行う。	助産制度利用件数（37人） ※府母子医療センター含む	4：大いに近づいた	継続	17,412	2,003	19,415	助産制度に関連する法律が度々改正されるため、常に最新の情報を収集する必要がある。	利用者に適切な制度の説明を行う上で、その都度マニュアル等の見直しを行う。	
2	母子生活支援事業	安心して子どもを産み、育てられている	子育ての不安を解消する環境をつくるため、児童の福祉に欠けるところがあると認められる母子家庭を母子生活支援施設に入所させる。	入所世帯数（2世帯）	4：大いに近づいた	継続	11,230	2,865	14,095	ここ数年、コロナ禍のため、入所世帯への面談が実施できなかった。	コロナ禍も終息しつつあるため、入所世帯への面談を実施し、早期に自立できるように支援を行う。	
3	放課後児童健全育成事業	働きながら子育てができています	放課後に保育を要する児童に適切な遊び及び生活の場を提供するため、家庭機能の補完と生活指導を行う。	チッコホーム利用登録者数 （1,346人） ※令和5年2月1日現在	4：大いに近づいた	継続	220,893	38,663	259,556	ここ数年、コロナ禍のため、利用者数が減少傾向にある。	コロナ禍も終息しつつあり、これから利用者の増加が見込まれるため、待機児童が生じないために教室の確保等を実施する。	
4	ファミリー・サポート事業	働きながら子育てができています	地域において安心して子育てできる環境を整備するため、育児の援助が出来る人と援助を受けたい人が会員となる育児の相互援助活動を支援する。	ファミサポ登録者数（782人） ※令和5年2月末現在	4：大いに近づいた	継続	4,271	2,149	6,420	ここ数年、コロナ禍のため、利用者数が減少傾向にある。	コロナ禍も終息しつつあり、これから利用者の増加が見込まれるため、広報等を強化し、協会会員数の増加を図る。	
5	子ども・子育て支援事業計画推進事業	働きながら子育てができています	子ども・子育て支援の充実を図るため、子ども・子育て支援事業計画の進行管理を行う。	子ども・子育て会議（2回開催）	4：大いに近づいた	継続	353	1,433	1,786	令和5年度から2カ年をかけて、第3期子ども・子育て支援事業計画の策定を行う。	市民アンケートの実施や子ども・子育て会議において、委員からのニーズを調査、研究し計画の策定を行う。	
6	障害児通所支援事業	子どもの健康と安全が保たれている	個々の障害の軽減及び家庭生活での負担の軽減を図るため、障害児の通所支援を行う。	【利用者数】 児童発達支援（176人） 医療型児童発達支援（12人） 放課後等デイサービス（628人） ※令和5年2月末現在	4：大いに近づいた	継続	1,348,518	4,069	1,352,587	障害のある児や発達に遅れがある児に対して、早期発見、早期療育を進める中で、支援を受ける児童の数が年々増えてきている。	利用者が増えることにより、支援へのニーズが高いため、市内にある事業所の特色等を把握したり、情報の収集を行う。	
7	いじめ問題対策事業	子どもの個性や能力が豊かに育まれている	児童等の教育を受ける権利、心身の健全な成長及び人格の形成を保持するため、いじめ防止等に関する対策を講じる。	いじめ問題対策連絡協議会（1回開催）	4：大いに近づいた	継続	3	716	719	会議を開催するまでの時間を要することがある。	外部委員への日程調整を効率的に行えるように検討を行う。	
8	子育て支援課管理事務事業	持続可能で信頼される行政になっている	課内・部内の円滑な運営を遂行するため、庶務全般を効率的に行う。	・部の筆頭課としての役割 ・庶務全般の業務 ・国、府からの子育て施策等に関する情報を関係課へ共有	4：大いに近づいた	継続	157	15,400	15,557	課員が使用する共有（Sドライブ、グループウェア）スペースの整理が不十分。	課員が共有して使用するスペースについて、誰もが効率的に利用できるための一定のルール化を検討する。	